

## 道

NO. 149  
2013. 3. 19

## 卒業式での代表生徒の言葉の紹介 その1

2010年4月7日、私たちは、この向島中学校に入学しました。真新しく、少し大きめの制服に身を包み、校門をくぐりました。顔も知らないクラスメイトや先生、見慣れない景色に不安を抱きながらの入学式でした。憧れの中学校生活がスタートすると共に、授業も始まりましたが、勉強はこれが中学生かと思える程難しかったです。板書をするにも、黒板の文字はみるみる消され、問題を解くにも次々に解説されていき、慣れるまでが大変でした。学校の環境にも早く慣れる様にと過ごしていると、あっという間に運動会が迫っていました。クラスメイトとも打ち解け始め、練習は良い滑り出しを見せました。しかし、まだ互いに理解出来ていない部分もあったためか、途中クラス内で揉めることがありました。特にこれが強く出てしまったのは、大縄跳びでした。最初は跳ぶタイミングが合わず、1回跳ぶのも難しい状態でした。そのため、上手いいかないことへの苛立ちができ、クラスに亀裂ができてしまいました。しかし、どうにかしたいと動き出してくれる人が日に日に増え、やがてどのクラスも以前よりも団結力が強くなりました。跳べる回数も練習を重ね、試行錯誤もしていったお陰で増えていきました。そして、それに釣られるように他の競技もだんだんと上手くなっていきました。先輩方や先生方に迷惑をかけることもありましたが、互いに切磋琢磨し、本番は最高に盛り上がりました。3年生の競技はレベルが高く、自分たちも負けていられないと思える運動会でした。

そして7月、野外体験。この地域では見られない自然を歩き、新鮮な空気を味わいました。竹の素材から箸を作ったり、先生の怖い話を聞いたりしました。ただその中で、時間を守れなかったり、ルールを守れなかったり等、多くのミスをしてしまいました。その反省を兼ね、2日目の朝はひたすら体育館内で走りました。自分たちの失敗を身をもって痛感しました。後先考えずに行動してしまったことが、今回の失敗の最大の原因だったと思います。この失敗を挽回すべく、先生方は『区内巡り』という形で、私たちにチャンスをくれました。自分たちで計画し、自分たちだけで行動しました。班で意見を出し合い、コースを決めるのは大変でした。当日は、自分たちの住んでいる地域なのに知らないところが多くあるんだという意外さも、新たな視点から見た墨田区の良さを感じました。予定通りにいかず、苛立ってしまう時もありましたが、そんな時は先生方が励ましてくれました。私たちの成功を願ってくれているのだと思うと、嬉しくてたまりませんでした。

2つの行事を乗り越え、クラスの絆がより深まる中、迎えた文化祭。歌うことを恥じらい、何度も先生に怒られました。舞台への移動がままならず、このままで大丈夫だろうか、誰もが不安を抱きました。本番が近づくとつれ、不安は募り、クラス内でも揉めました。それでも先生方は指揮をしてくれたり、歌い方を調べたりしてくれました。お陰で、本番は楽しく歌うことができました。金賞を受賞したクラスも、そうでないクラスも後悔はなかったと思います。この1年、私たちは先生方に沢山迷惑をかけてしまいました。話も聞かず行動できず、ただ流されていました。しかし、この1年で得たものは多く、そのどれもが大きなものでした。それらは、その後の生活に強く発揮されたと思います。

学年がひとつ上がり、クラスも変わり、最初に迎えた行事は運動会。1年の時に一緒だったメンバー、そうでないメンバーとが入り混ざり、練習は各クラスの個性で溢れていました。『練習のための練習にならないように』と心がけ、来る運動会当日は、今までの練習が『本番のための練習』だということを示す日、団体種目は勿論のこと、個人種目も皆で一丸となって臨みました。集中さを切らさずにいたためか、競技はどんどん進んでいきました。結果が発表され、泣き笑い合った運動会。ケガ人が出ても、カバーすることができた私たちは、団結力と信頼関係という点で大きく成長することができたと思います。日に照らされた校庭よりも熱く燃えたこの日は、梅雨を目前とした少し湿った風に冷まされながら幕を閉じました。

その熱さを思い出させるかのように、暑くなり始めた初夏。私たちは移動教室で菅平に行きました。1年の時の失敗を思い出し、計画から全力で取り組んだ甲斐あって、ほぼ予定通り進みました。寺院や自然等、沢山の場所を見学しました。班ごとに小布施の町を回り、沢山の思い出もできました。1年生の時と比べると行動力、責任感共に成長できたと思います。

夏も終わり、日が短くなって、いよいよ文化祭が近づいてきました。去年の経験を活かしたため、練習はスムーズでした。皆で創る文化祭。練習方法はクラスごとに違い、それは歌にも大きく出ていました。覚悟を決めて挑んだ当日でしたが、やはり本番の緊張感に慣れることはできませんでした。私たちであれば技術や一体感等、もっと高い到達点を目指せたと思うと、再び課題の残る文化祭となってしまいました。

次の行事は職場体験でした。文化祭で学んだことを活かし、日々の生活を見直しながら行事を迎えました。働くことの難しさを学んだ3日間でした。今までの行事とは違い、見知らぬ人と協力し作業しました。社会に出るには、まだまだ未熟なんだということを知りました。2年の終わりを目前として、学年最後の行事『2年校外学習』が行われました。行ったのは鎌倉でした。あいにくの雨に見舞われましたが、数々の建造物は天候に左右されない程、壮大なものでした。制服や靴が雨に濡れ、汚れてしまいましたが、それもまた良い思い出です。反省点としてあげられることは、緊急事態への対応という点です。この行事では、まだ私たちに足りないものも学べました。鎌倉遠足が終わると、3年生を送る会、卒業式と続きました。来年の今頃、私たちも先輩方と同じように立派な姿で、この日を迎えられるのかと不安を抱きながら先輩方を見送りました。

桑原 葵香